

## 2024 年度（対象年度：2023） 自己点検・評価シート

## 基準 27 人権に関する取り組み【独自】

## ■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

## &lt;前年度の伸長・改善計画&gt;

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
2701	ムスリムが日々の礼拝場所に困っている実態があることから、ムスリム等のための礼拝スペースの設置について検討する。
2701	ジェンダーギャップの解消に向けて、男女共同参画推進委員会等において研修会や具体的な在り方の検討を進める。 ・学生の通称名、教職員の通称名や同性を含む事実婚のパートナーを配偶者とする制度の整備。

## &lt;前年度の評価結果（課題事項）&gt;

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。 ・男女共同参画推進委員会等によるジェンダーギャップ解消の具体的な提言や活動を行う。【留意点】 ・学生の通称名、教職員の通称名や同性パートナーを配偶者とする制度を整備する。【留意点】
---

## &lt;【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項&gt;

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題 なし
------------------------------

## I. 自己点検・評価

## 1 自己点検・評価結果 &lt; 評定 &gt;

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価 現状
2701	人権に関する全学的な方針を設定し検証しているか。また、その方針にしたがって理解促進に努めているか。 ①人権学習・啓発および理解醸成 ・学生・教職員への周知・理解 ・本学の人権課題の検証	B

## 2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
2701 「人権に関する基本方針」、「性のあり方の多様性に関する基本指針」を策定し、HP、学生手帳、出講手帳に掲載している（2701 ア、イ、ウ、エ）
2701 「龍谷大学SDGs宣言」を策定し、HPに掲載している（2701 オ）
2701 男女共同参画推進委員会において行動計画の進捗確認をおこなった（2701 カ、チ） 例えば、以下のとおりである。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任事務職員における女性割合を、2021年度から1ポイント以上向上させる。→達成 (+1.5)</li> <li>・役職者における女性割合を、2021年度14.0%から1ポイント以上向上させる。→達成 (+2.0)</li> <li>・専任事務職員の年間平均時間外勤務時間数を、2018年度実績を超えない。→未達成 (+6.57h)</li> <li>・専任教育職員における女性割合を、2021年度を基準として向上させるよう努める。→達成 (+0.6)</li> </ul> <p>2701 人権学習誌「白色白光」を発行し、HPに掲載するほか、新入生(全員対象)に配付した(2701キ)</p> <p>2701 性の多様性への取組指標「PRIDE指標」に応募(シルバー認定)し、本学の状況を把握している(2701ク、ソ、タ)</p> <p>ただし、PRIDE指標においてゴールドの評価を受けるためには、様々な取り組みを継続して行うことが求められる。特に「同性を含むパートナーを配偶者と同等に扱う」こと、および「自認する性に基づく通称名の使用を認める」ことを制度として整備していないことが喫緊の課題である。</p>	
長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
2701	性の多様性に関する学び・浸透・改善(SOGIカフェ、講演会、展示、発信、提言等)をおこなっている。また、性的少数者のロールモデルを示す「大学生のためのLGBTQ+ライフブック Vol.4『お坊さんたちのライフストーリーズ』」を発行し、HPで公開するとともにキャンパス内に配置している(2701ケ、コ、シ、ス)
課題事項《箇条書き》*伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

### 3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等)への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランスジェンダー学生のニーズを受け「学生の通称名等使用の取扱いに関する要項」を施行した。(2701サ)</li> <li>・「白色白光25号」の座談会や人権問題研究委員会、宗教委員会、さらにはグローバル教育推進センター会議の検討を経て、深草キャンパスにムスリム等のための「礼拝室」を設置した。(2701セ)</li> </ul>	

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策(到達目標を含む)
2701	教職員の通称名や同性パートナーを配偶者とする制度を整備する。

### 4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
2701	ア	2701 ア:人権に関する基本方針(HP).pdf【ウェブ】
	イ	2701 イ:性のあり方の多様性に関する基本指針(HP).pdf【ウェブ】
	ウ	2701 ウ:学生手帳.pdf
	エ	2701 エ:出講手帳.pdf
	オ	2701 オ:SDGs宣言.pdf【ウェブ】
	カ	2701 カ:男女共同参画推進委員会.pdf
	キ	2701 キ:白色白光26.pdf【ウェブ】
	ク	2701 ク:PRIDE指標2023.pdf【ウェブ】
	ケ	2701 ケ:SOGIカフェ.pdf【ウェブ】
	コ	2701 コ:現代的課題と建学の精神P.pdf【ウェブ】
	サ	2701 サ:学生の通称名.pdf【ウェブ】
	シ	2701 シ:お坊さんたちのライフストーリーズ.pdf【ウェブ】

ス	2701 ス：東京レインボープライド.pdf
セ	2701 セ：ムスリム等の学生・教職員のための礼拝室.pdf【ウェブ】
ソ	2701 ソ：2023 年度第 2 回人権問題研究委員会レジュメ.pdf
タ	2701 タ：2023 年度 PRIDE 指標自己採点（応募時）.pdf
チ	2701 チ：2023 年度第 1 回男女共同参画推進委員会.pdf

## II. 評価結果

総評
<p>2701①</p> <p>人権に関する全学的な方針を定め、その方針に基づき研修会（茶話会）を開催し、人権学習誌を発行・配付するなど学生・教職員の人権に対する理解促進に努めている。当該年度においては、課題となっていた「学生の通称名等使用の取扱いに関する要項」を施行したこと、深草キャンパスにムスリム等のための「礼拝室」を設置したことは、大きな前進であり、高く評価できる。また、男女共同参画推進委員会における行動計画・目標設定と「PRIDE 指標 2023」（シルバー認定）を通じた本学の性の多様性において、いずれも具体的な指標をもちいて現状と進捗を把握しようとしている点は評価したい。</p> <p>「長所・特色」「伸長・改善の進捗状況」で書かれている内容は、上の「自己点検・評価」（現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか）の記入欄にも記載していただきたい。</p>
長所・特色《箇条書き》
<ul style="list-style-type: none"> <li>・深草キャンパスにムスリム等のための「礼拝室」を設置した。</li> <li>・「大学生のための LGBTQ+ ライフブック Vol.4 『お坊さんたちのライフストーリーズ』」の発行・配布などを通じて、性の多様性に関する学び・浸透・改善（SOGI カフェ、講演会、展示、発信、提言等）をおこなっている。</li> </ul>
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
なし